

## 宗内寺院紹介 77

滋賀教区愛犬部

松峯山

金剛輪寺



①



②



③



④



⑤



⑥

- ①本堂(大悲閣)    ②本堂内陣の仏像    ③三重塔  
④二天門    ⑤十一面観音    ⑥名勝庭園

当山は、天平十三年(七四二)に聖武天皇の勅願により、行基菩薩が開山された。本尊は行基菩薩自らお彫りになった聖観世音菩薩で、その伝承から「生身の観音」とも称されている。嘉祥年間(八四八〜八五二)には慈覚大師が来山し、三密瑜伽の一大道場として復興された。爾来、当山では大師を中興の祖と仰ぐ。

弘安十一年(一一八八)、元寇の役の戦勝記念として近江守護職佐々木頼綱によって建立された本堂は、大悲閣ともよばれ、中世密教建築の代表的なものとして国宝に指定されている。

この他、建造物では室町期建立の三重塔および二天門が、仏像では十二面観音立像をはじめとする平安期から鎌倉期に造立された十一軀が、重要文化財に指定されている。

また、桃山期から江戸中期に作庭された本坊明壽院の池泉回遊式庭園は、国の名勝にも指定されている。

滋賀教区愛犬部

松峯山 金剛輪寺

住所 / 〒529-1202 滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺873番地

電話番号 / 0749-37-3211